

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・客の購買意欲が向上しており、売上が徐々に上がっ てきている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・既存店売上高の前年比を3か月前と比較すると、 101.3%が102.4%と、1.1ポイント良くなっている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・客単価はあまり伸びていないが、今年の夏は暑く、 来客数は予想を上回った。他の競合店の動きをみて も、同じような傾向がうかがえる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夏祭りや花火大会等の人出は多かった。しかし、昨 年、一昨年に比べると、身近な娯楽で済ませている様 子がうかがえる。
	変わらない	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・中元商戦と盆の売上はまずまずであったが、盆以降 にぐっと冷え込んだ感があり、景気は変わらないとい う感じである。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・例年8月は、帰省客や観光客等が、夏物バーゲン品 を買っていきが、今年はそうした客が非常に少なく、 苦戦している。
		百貨店（総務担 当）	単価の動き	・高額品が伸び悩んでいる。例えば、進物用の風呂敷 はこれまで3,000円が一般的だったが、今は1,000円 から2,000円の物が中心となっている。また、台所用 品も多層構造の鍋に代表されるような、高額商品の売 行きが非常に苦戦している。こうした傾向は依然続い ている。
		百貨店（営業担 当）	単価の動き	・8月前半は好調に推移したが、後半から来客数が大 幅に減少した。期間全体の来客数は、わずかにプラス で推移しているが、客単価や買い上げ点数などが減少 した。衝動買いが減少し、必要な物以外は買わない という状況である。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・日用雑貨や賞味期限の長いラーメン等の食料品など は、特売日等の単価の安い時に買いだめする傾向が続 いている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・気温は高かったものの、天候が悪かったせいか、来 客数、売上とも伸びなかった。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・夏物バーゲンは盛り上がり欠け、売上高は前年実 績を下回った。来客数、販売量は3か月前と変わらな かったが、猛暑の影響で単価の低い薄手のカットソー が良く売れ、その分客単価は下がった。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・オリンピック需要を期待したが、思ったほどの伸び はなかった。
		家電量販店（営 業担当）	来客数の動き	・先月までは来客数が多少上昇してきていたが、現在 は前年並みの来客数にとどまっている。しかし、冷蔵 庫、パソコンといった商品に目を向ける客が増えてき ている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・6、7月は新型車の導入効果により、販売量が増え たが、8月に入り頭打ちとなった。
一般レストラン （経営者）		単価の動き	・夏休み、オリンピックと売上の増加を期待したが、 例年とあまり変わらなかった。	
都市型ホテル （経営者）		単価の動き	・単価が安ければ販売数は伸びるが、トータルの売上 高は変わらない。	
旅行代理店（従 業員）		来客数の動き	・今年の春先以降、旅行需要はまずまず回復してきて おり、今月も順調に推移した。夏休みの家族旅行も昨 年より多かった。特に北海道への直行便が就航したこ とにより、北海道への人気が高かった。	
観光名所（経営 者）		来客数の動き	・台風の影響により、予約のキャンセルが続出した。	
ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・2、3か月前と比較すると、今月の来客数は順調に 推移したが、繁盛期のお盆や月末、週末の来客数は少 なかった。客は料金の安いことを目当てに来場するた め、サービス券を発行して、客の囲い込みを図ってい る。		
設計事務所（所 長）	販売量の動き	・マンションに売れ残りが出ている。		

	やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・郊外の大型ショッピングセンターにシネコンがオープンした影響でファミリー層や若年層を中心に、かなりの数の客が郊外へ流れた。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・月初から台風に見舞われたことに加え、週末にかけて雨が多かったため、来客数が非常に少なかった。また、エアコン、薄型テレビや飲料関係に消費が回っている分、衣料関係が悪くなっているように感じる。
		タクシー運転手	単価の動き	・盆休みの前までは通常どおりだったが、盆を過ぎてから客が減った。特に夜に飲みに出ている客が少なく、乗っても近場が多いため、単価が伸びず、売上は全体的に低い。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・不動産仲介手数料が減少したことや、賃貸物件の借り手が少なくなってきた。
	悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・猛暑・台風の影響やお盆の休みが短かったため、売上は悪かった。
企業動向関連	良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・リストラなどの影響により、国内全体の生産量が低下している中で、対応力に企業格差が生じている。こうした状況下で、当社は受注量が増加しており、予想どおりの受注量を確保することができた。
	やや良くなっている	通信業（営業担当）	それ以外	・パソコンやLAN設備の増設など、インフラ整備の受注が最近増えてきている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・猛暑の影響で、店頭販売は非常に良いが、売れるのはパーゲン商品等が中心で、通常価格の商品が少し悪いいため、全体的にかさ上げされていない。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・この夏の猛暑で、清涼飲料、ビールなどの夏型商品が、前年比で10%近く伸びたと聞いているが、夏物衣料のパーゲンセールは、専門店、量販店とも、相変わらず低調のようである。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先企業の毎月の資産表などをみていると、ここ6か月間くらい、まったく変わらない状況が続いている。中には悪化している業種もあり、まだまだ景気が良くなってきているという実感は、数字の上では出ていない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は非常に景気は上向きの感があり、受注が大変多かったが、最近は案件が少なく、見積、受注とも減少している。また単価も厳しく、景気が後退したような感じを受ける。
悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事の減少と受注競争の激化に伴い、入札でダンピングが発生し、契約見送りとなったケースがある。	
雇用関連	良くなっている	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・採用の面接が増加した。
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・最近、工場の新設に伴い、求人が増加した。また、全体的に派遣のニーズが非常に増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・中途採用関係が多様化し、受注が増加してきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で11か月連続して増加した。情報通信業では、企業進出に伴う大口求人がみられた。医療、社会福祉、介護事業では小規模のグループホーム、訪問介護等、老人福祉施設からの求人が増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は若干増加を続けているものの、相変わらず派遣、請負業等からの契約期間付きの求人が伸びており、正社員の求人の増加はみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数はパート求人の減少が大きく、前年同月比で4.1ポイントのマイナスとなった。新規求職者、有効求職者ともに、前年同月比もマイナスとなっており、有効求人倍率は0.52倍と変化はみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・短大の採用者数は例年並みであるが、4年制大学の採用者数が極めて低調である。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	